

領域	マテリアリティ	SDGsとの関連	10年後の望む姿	KPI
企業価値を高めるCSR	農業分野 農業による食料安全保障と持続可能な農業への貢献 (1) 世界的な食料飼料の増産 (2) 作物保護の多様化 (3) 使用者安全性向上(化学品・製品安全)	 目標2: 飢餓をゼロに! 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する。	・農業問題、食料問題に取り組みビジネスとして施工している化学企業グループ。	(1)セミナー開催状況 (2)取組み状況 (3)顆粒剤への移行状況
	医療分野 医薬による健康をすべての人にとどけることへの貢献 (1) HPCIによる飲みやすく効果的なお薬 (2) 高齢者・障害者が暮らしやすい住環境	 目標3: すべての人に健康と福祉を! あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。	・健康問題に取り組みビジネスとして施工している化学企業グループ。	(1)貢献状況 (2)取組み状況
	環境分野 化学(技術力)による健全な資源循環への貢献 (1) 水資源供給の安定化 (2) 廃棄物による環境負荷の低減 (3) 建物の長寿命化 持続可能な植物保護への貢献 (1) 貴重な松などを害虫から守る (2) 建設事業における環境配慮の取組み	 目標6: 安全な水とトイレを世界中に! すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する。  目標11: 住み続けられるまちづくりを! 都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする。  目標12: つくる責任、つかう責任! 持続可能な消費と生産のパターンを確保する。  目標15: 陸の豊かさを守ろう! 貴重な植物や森林保護を通じて陸の豊かさを守る。	・積極的に地球環境問題に取り組みビジネスとして成功している化学企業グループ。	(1)貢献した水の量 (2)取組み状況 (3)取組み状況 (1)取組み状況 (2)取組み状況
	情報分野 高機能な材料の提供によるすべての人・環境に優しい情報機器実現への貢献 (1) 人や環境に優しい高機能材料の提供	 目標9: 産業と技術革新の基礎を作ろう! 情報機器分野の技術革新を高機能材料の提供からサポートする。	・情報・遠視分野の発展を材料から支えビジネスとして成功している化学企業グループ。	(1)当社品貢献端末数
	次世代を見据えた取組み 気候変動を低炭素製品の供給で貢献する (1) 低炭素製品の供給で低炭素社会に貢献 (2) 低炭素建築物 日本曹達グループだけでは、実現できない目標をパートナーシップで実現する (1) 企業・団体と目標への理念共有と協働 次世代を担える人材育成 (1) 安全を未来に継承できる教育システム 次世代への研究開発 (1) 人間社会、地球環境が継続的に発展でき、ビジネスにつながる研究開発。	 目標13: 気候変動に具体的な対策を! 低炭素製品の供給で低炭素社会に貢献 例えば 1) 農薬 化学農薬→微生物農薬、微生物産生物農薬。 2) 医療 HPCIの原料はセルロースつまり、植物原料です。 3) 環境 PCBのSDによる無害化処理は、低炭素処理です。 4) 情報 情報分野で使われる材料も低炭素素材を考慮します。 5) 次世代 生分解性プラスチック。 6) 木質建築(間伐材利用)、パッシブ建築(自然光、風等の利用)  目標17: パートナーシップで目標を達成しよう! 単独では実現できない目標を他の企業や団体と理念を共有し協働することで実現する。	・低炭素製品の供給で低炭素社会に貢献し、ビジネスとして成功している化学企業グループ。 ・複数の企業や団体と価値観を共有して目標を実現でき、ビジネスとして成功している企業グループ。 ・CSRの理念を持ちビジネスとして成功できる人材が育っている化学企業グループ。 ・製品を通じ社会貢献ができ、かつ、ビジネスとして成功できる企業グループ。	(1)低炭素製品数推移 取組み状況 貢献状況 (2)取組み状況 (1)取組み状況 (1)育成状況 (1)研究状況

注) は、主な取組み。